

# はばたき

厚木市立睦合中学校学校だより  
令和3年1月8日発行  
NO. 326

## 新年を迎えて

校長 津田 敏行

2021年は新たな転換期となります。今年度はあと3カ月となりましたが、来年度から学校では、新学習指導要領の完全実施となり、教育環境、教育内容も変わってきます。学校教育の方向性としては、「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」を育てていくことを念頭に置き、そのためには、知識と技能を高める、思考力・判断力・表現力を高める、学びに向かう力を高めるといった3つの柱が示されています。このことは急速に進んでいる情報化社会、グローバル化を見据えての内容でもあります。生徒一人一人が将来を豊かに生活していけるようこの方向性に即した本校の教育を充実させ、その支援に努めてまいります。既に移行期間で少しずつ実施している授業では、学習課題に対して「自分の考えを持つ」、「他の意見を聞く」、「発表し合う」といった生徒が主体的に取り組む学習活動も取り入れるようにしています。コロナ禍に伴い、1人1台のタブレットがこの4月から前倒しで導入されます。今後は授業におけるICTの活用も本格的に行っていくようになります。私たちも効果的に活用できるよう職員研修を行い、生徒が意欲的に取り組めるよう授業づくりをしていきます。既に小学校ではプログラミング等の授業も今年度から実施していますので小中学校連携も図りながら推進していきたいと考えています。

コロナ禍においても生徒の皆さんは、学校生活をよく頑張ってくれています。様々なことを感じていると思いますが、現実を受け止め、自覚ある行動もしてくれています。日常の授業や諸活動等、学校生活を真面目に建設的に取り組んでいる姿を見ていると素直さと逞しさを感じます。そのような皆さんに今年も更にステップアップしてくれることを期待します。コロナという言葉がどうしても前についてしまいがちですが、やるべき対策はしっかりと行う中で、引き続き今できることを一生懸命に行い、コロナが収束した後の生活に役立つ基礎固めを行ったり、何か行うことに対しての創意工夫を試みたりと豊かさを求めて生活ができるといいと思います。この大切な中学生期をお互いに支え合いながら素晴らしい2021年を創り上げていきましょう。

保護者の皆様におかれましては、日頃から本校の教育活動にご理解、ご協力をありがとうございます。学校に足を運んでいただくことが例年のようにはいきませんが、担任と連携を図りながらお子様を支えていただきますようお願いいたします。

また、地域の皆様にも日頃から本校を支えていただき感謝申し上げます。地域行事等にも生徒のみなさんに協力してもらい、貢献できたらと思っています。まだ具体的なことはできない状況ですが、今後ともよろしく願い申し上げます。

また、先がわからず、制約されることが多いですが、心身ともに健康でいて前向きに、元気でいる子供たちであってもらえるよう私たち教職員も頑張ります。

本年もよろしく願いいたします。



## 思いやりの心

1 学年主任

吉野弘の「夕焼け」という作品があります。満員電車で娘が座っていて、その前に年寄りが立ったので二度席を譲ったが、三度目は譲らずに席を立たなかった。しかし、娘は唇をかみ、体をこわばらせてうつむいていた。という内容です。その詩の最後の部分に次の一説があります。「やさしい心の持ち主はいつでもどこでもわれにあらす受難者となる。何故って、優しい心の持ち主は他人のつらさのように感じるから。優しい心に責められながら娘はどこまでゆけるのだろう。下唇を噛んで、つらい気持ちで美しい夕焼けも見ないで」形だけの「思いやり」ではなく、もし自分だったらと相手の立場に立って物事を考えなければならぬということです。世界中がコロナの影響を受けている今こそ、みんなと一緒に乗り越えなければなりません。思いやりの心を大切にできる良い年になるようにしていきましょう。

## 先が見通せないからこそ

2 学年主任

明けましておめでとうございます。とは言ってみたものの、巷では再び緊急事態宣言が検討され、私たちを取り巻く現実はそのなかにめでたいものではなさそうです。1年以上前からすでに今のような生活が訪れることを予測していた人はまずいないでしょう。「先が見通せない」ということは人間を不安に陥れます。そんな時に必要なのは「学び続けること」「人と繋がっていること」「創造的に取り組むこと」ではないでしょうか。こんな状況下だけど、何ができるのだろうかとか新たなものを創造していく。そのために今学んでいることを生かしてみる。独りではなく、みんなで。この先、4月には世の中がどうなっているかは分からない。でもきっと、みなさんは最上級生になることでしょう。いずれ来るその時に備えて、2学年目標である「渾身(全力で挑むこと)」を大切にしたいと願っています。

## 3学期を迎えて

3 学年主任

師走の忙しさをどうにか乗り越えて、新年を迎えたかと思えば、もう始業式となりました。今年度の冬休みはいつもより短いですが、年越しという大きな節目がある時期でもあります。紺ジャージの生徒たちは大きく体調を崩す生徒も今のところはなく、元気に学校生活を送っています。

これから、3年生は進路に向けての大切な時期となります。目標に向かって、それぞれの生徒が自分自身で出来ることを精一杯頑張ってくれたいと思います。

最終ゴールを卒業式とし、自信を持ってよい卒業式だと言えるように、全員で取り組んでいきたいと思っています。そのために3学年職員一同は新年に気持ちを入れ直して、生徒の輝きをより一層のものとしてできるようにバックアップしていきたいと思っています。

## 共に生きる

ひまわり級主任

いつも、ひまわり級の仲間に声をかけてくれてありがとうございます。今年もよろしくお祈りします。

さて、同じクラスの仲間の中には、自分ではどうすることもできなく困っている事情がある人がいます。どんなに努力しても抱えている困難は、消えません。あなたのクラスの中で、困っている仲間はいませんか。困っている仲間の特性を理解できるようになるには、まず、自分自身に周りを見る余裕がないとできません。社会に出ても、色々な人がいます。まず、同じ睦合中学校で生きる仲間として、お互いを正しく理解し、共に助け合い、支え合って生きていくことの大切さを学んでほしいと思います。



※裏面に学校評価保護者アンケート結果を掲載してありますのでご覧ください。